

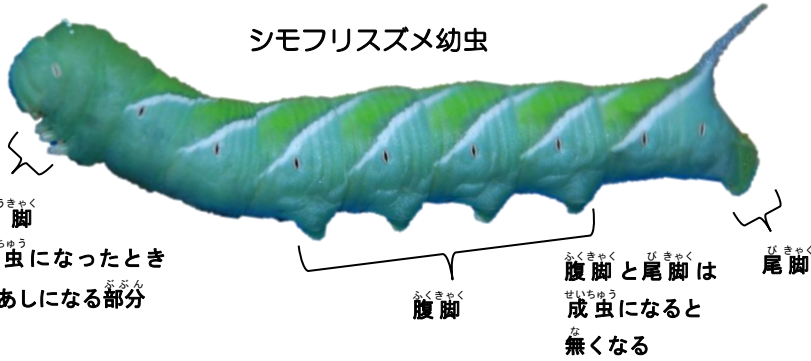
きせつ
季節のいきもの

みりょくだいこうかい
イモムシとケムシの魅力大公開

「季節のいきもの」の執筆担当になったときによく書くのですが、自分は「ガ」や「チョウ」などの翅に鱗粉がある仲間（チョウ目）が大好きです。そして、その幼虫たちはもっと好きです。ガはともかく、チョウは好きという人でも、イモムシやケムシは嫌いだという人は多いのではないのでしょうか。今回はその魅力について皆さんにアピールしてみたいと思います。

魅力その1「脚がたくさんある」

昆虫の成虫の脚は6本ですね。チョウ目の幼虫は下の写真にあるように顔のすぐ下（胸）に3対6本の「胸脚」の他に最大4対の「腹脚」と1対の「尾脚」があります（シャクガの幼虫などいわゆる尺取り虫やイラガの幼虫など、腹脚が退化し少ないものや無いものもいます）。



ねが
お願いポーズに見えますが
いかに
威嚇しています。かわいいですね。

コウチュウの幼虫は腹脚が無いですし、ハバチの幼虫は腹脚が必ず5対以上ある（そのほか尾脚1対）ので見分けがつかます。少なすぎず多すぎずほどよい数なのがいいですね。特に胸脚を合わせている姿はキュートです。

魅力その2「頭の脱皮殻がかわいい」

脱皮をして大きくなりますが、頭の部分はお面を脱ぐようにして脱皮をします。脱皮した頭だけを集めるのも楽しいです。



魅力その3「模様や色がきれい」

成虫は地味な色のガやチョウでも幼虫時代はカラフルなものがあります。また、ケムシのモフ

モフした毛は哺乳類を思わせるかわいさです。思わず顔をうずめたくありませんか？最近では、幼虫の柄をモチーフにした小物なども販売されています。わかります。かわいいですもんね！



ウラギンシジミ幼虫



アヤモクメキリガ幼虫



キハラゴマダラヒトリ幼虫



マイマイガ幼虫

もっと魅力をお伝えしたいのですが、紙面の都合上ここまでにします。もっと聞きたい方は、ぜひセンターへ私を訪ねてきてください。

これからの季節、ガやチョウの幼虫がたくさん観察できる時期になります。幼虫の食草を調べ、その草や木のまわりで一緒に幼虫ウォッチングをしませんか？(R.Y)

※かわいいですが毒のある幼虫もいますので、触るときは調べてからにしましょう。

こうぞあんない
講座案内(6月)

ししま講座
ててス座
ね参クへ
!加をは



新型コロナウイルス対策のため予定変更の場合は、ホームページでお知らせします！

6月26日(日)「ザリガニつり体験」

※雨天中止※ザリガニは持ち帰れません。

ザリガニつりに挑戦し、ザリガニや外来種について学びましょう。

◇対象：誰でも(小学2年生以下保護者同伴)

◇時間：午前10:00~11:30と

午後1:30~3:00のいずれか

◇持ち物：マスク・動きやすい服装・帽子・水筒

◇参加費：100円(教材費・保険代) ◇定員各20名

※申込受付：5月26日(木)から(電話のみ)



★申込方法：電話にてお申込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、お申込みは講座の1か月前の10時から受け付けています。

※問い合わせ・受付時間：Tel:048-422-9991 10:00~16:30

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページをご覧ください。

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)

